

障害者の芸術文化活動に係る 先進地視察

視察日

令和元年

11月19日(火)



やまなみ工房



ボードレス・アートミュージアム NO-MA

※本チラシの展示会の写真は、視察時に開催されている展示会等とは関係ありません。

コース

6:30 和歌山県福祉事業団本部 (西牟婁郡上富田町岩田2456-1) 出発



8:00 和歌山県福祉事業団あいショップ (和歌山市出島362-3) 出発



10:40 やまなみ工房 到着・視察



12:00 昼食(やまなみ工房)



14:30 ボードレス・アートミュージアム NO-MA 到着・視察

目的

先進地施設等の創作環境やギャラリー（美術館）運営のあり方を学び県内事業所における創作活動の充実化を図る基盤づくりにつなげる。

定員

23名 ※先着順

行き先

- ・やまなみ工房 (滋賀県)
- ・ボードレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県)

参加費

実費 ※当日、お支払い下さい。

- ・やまなみ工房見学科 500円
- ・昼食代 1,100円※ドリンク付き
- ・NO-MA入館料 600円

※バス会社の貸切バス（小型）にて移動します。

※帰りの到着時間は、18時00分頃（和歌山市）、19時30分頃（上富田町）を見込んでいますが、現地での視察時間、道路状況により変更となる場合があります。

お問い合わせ

社会福祉法人和歌山県福祉事業団
和歌山県障害者芸術文化活動支援センターわがらあと
TEL 0739-34-2808 FAX 0739-47-6645 E-mail wagara-art@wfj.or.jp



社会福祉法人
和歌山県福祉事業団
Wakayama Social Welfare Corporation

視察先紹介



やまなみ工房

1986年無認可共同作業所として2名のスタッフと3名の利用者でスタート、その後1997年に法人化、現在は60名定員の多機能型事業所（現員85名）として運営。

障がいのある人が、その人にあったテンポで興味や感心のある活動を中心に行っています。活動グループは、粘土や絵画に取り組む「アトリエころぼっくる」、刺繍や絵画に取り組む「こっとん」、健康のため散歩や運動に取り組みながら表現活動を行う「ぶれんだむ」、メンテナンス作業を中心に取り組む「もくもく」、古紙回収事業を中心に取り組む「たゆたゆ」、カフェ営業を行う「ハグハグ」と6つに分かれ、それぞれあるがままの自分が認められ一人ひとりの思いや価値観を大切にしながら活動。

様々な表現から感じる個々の本質を大切に、感性とは何か、豊かさとは何かを考え、それぞれの可能性、そして「幸福」が無限に広がる事を目指しています。

近年においては、工房で生まれる多くの作品が、国内外問わず高い評価を得ており、展覧会等を通じて世界各国で紹介がされ、また様々なクリエイター、デザイナーとの共同プロジェクトにおいては、作品を使用した洋服が作られ世界14か国で販売がされたり、写真集やドキュメンタリー映画が上映される等、幅広く社会に発信されています。



ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAは、滋賀県近江八幡市の歴史ある重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期の町屋を和室や蔵などを活かして改築し、2004年6月に開館した、社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～(旧 滋賀県社会福祉事業団)が運営するミュージアムです。

このミュージアムの特徴は、障害のある人の表現活動の紹介に核を置くことだけに留まらず、一般のアーティストの作品と共に並列して見せることで「人の持つ普遍的な表現の力」を感じていただくところにあります。このことで、「障害者と健常者」をはじめ、様々なボーダー(境界)を超えていくという実践を試みています。

参加申込書

和歌山県障害者芸術文化活動普及相談支援事業
障害者の芸術文化活動に係る先進地視察

【申込締切：令和元年10月31日(木)】

お名前		
ご所属		
ご住所		
ご連絡先	TEL	
	FAX	

※個人情報につきましては、本視察以外において一切使用いたしません。

バス乗車場所 (いずれかへ○してください)

- 1 社会福祉法人 和歌山県福祉事業団 本部
- 2 社会福祉法人 和歌山県福祉事業団 あいショップ

和歌山県福祉事業団 和歌山県障害者芸術文化活動支援センターわがらあとあて

◎ FAX : 0739 - 47 - 6645 ◎ mail : wagara-art@wfj.or.jp